

# 小施策評価シート (平成 28 年度実績評価)

施策コード	12	施策名	芸術文化活動の振興		
小施策コード	12-2	小施策名	文化施設の整備と活用		
小施策 主管課等コード	046800	小施策 主管課等名	文化国際室		
評価責任者名	赤坂 國彦		内線番号	2110	
評価シート作成者名	小原 幹男		内線番号	2156	

## Step 1 施策目標の達成状況

まちづくり指標	目指す 方向	単位	25年度 実績 (当初値)	27年度 実績	28年度 実績	31年度 目標値	36年度 目標値
まちづくり評価アンケート調査「この1年間に何らかの芸術文化活動に参加した」と答えた市民の割合	↑	%	41.6	40.3	40.9	45.0	50.0

(↑：数値を上げていくことを目標とする指標， ↓：数値を下げていくことを目標とする指標， →：数値を維持することを目標とする指標)

## Step 2 小施策の全体像

小施策の概要等（構成事業は別紙ロジックモデルシートのとおり）

対象（誰（何）を対象として行うのか）	意図（対象をどのようにしたいのか）
市民，芸術文化施設	場（施設）が提供される。
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化会館は各施設とも建設から15年以上経過しており，設備も老朽化してきていることから，安全・快適で機能的な活動環境の提供に当たっては，適正な管理運営と計画的な施設設備の修繕や更新に努める必要がある。また，寄贈を受けた多数の市所蔵美術品の管理や有効活用を図る必要がある。</li> <li>芸術文化活動の振興は，長期的かつ継続的な視点に立った展開が求められることから，目標に向けて計画的に事業を展開する必要があります。</li> </ul>
取組の方向性	文化施設利用者へのサービス向上のため，計画的に設備の更新，修繕を実施する。また，市民の自主的・創造的な芸術文化活動が活発に行われるように，文化施設の活用を図る。

### Step 3 小施策指標の推移

小施策の指標	目指す方向	単位	25年度実績 (当初値)	27年度実績	28年度実績	31年度目標値	36年度目標値
文化会館平均利用率	%	↑	72.3	74.1	74.9	73.5	75.0
文化会館利用者数	人	↑	432,906	435,101	398,762	440,000	450,000

(↑：数値を上げていくことを目標とする指標， ↓：数値を下げていくことを目標とする指標， →：数値を維持することを目標とする指標)

### Step 4 市民ニーズの把握

盛岡市まちづくり評価アンケート結果によると「この1年間に何らかの芸術文化活動に参加した」と答えた市民の割合は40.9%となっている。

### Step 5 役割分担分析

#### 1 各主体の役割の状況

		役割の内容	役割分担比率 (%)
各主体の 役割の状況	市	文化施設の適正な管理を行い，良好な芸術文化活動の場を提供する。	50
	国・県・ 他自治体	文化施設の適正な管理を行い，良好な芸術文化活動の場を提供する。	10
	市民・ NPO	文化施設を利用し，芸術文化活動を行う。	30
	企業・ その他	文化施設を利用し，芸術文化活動を行う。	10

#### 2 今後の市の役割の比重の方向性とその理由

- 市の役割の比重を拡大していくことを検討する
- 現状維持（現在の市の役割の比重を維持する）
- 市の役割の比重を縮小していくことを検討する

(理由)

市有の文化施設の管理は，市が中心的な役割を担うものであり，指定管理者と連携し良好な芸術文化活動の場を提供することから，現状維持とするもの。

## Step 6 前年度に分析した課題・改革改善案に対するアクション

### 1 平成28年度に分析した問題点・課題に対する改革改善案

芸術文化活動に係る人材育成や計画的な施設の修繕と維持管理を進めるため、盛岡市における文化芸術振興施策に関する基本的な方向性を定める。

### 2 1の改革改善案の実施状況

(A：着手済, B：平成29年度に着手(予定含む), C：未着手または見送り)

改革改善案	具体的な取組(予定)内容	状況
盛岡市における文化芸術振興施策に関する基本的な方向性を定める	芸術文化施策推進指針策定に向け、関係団体等と意見交換を行った。	A

### 3 2で挙げた取組状況がCの場合、その原因

## Step 7 成果・問題点の把握

### 1 成果の把握と要因分析及び課題の設定

#### (1) 小施策の中で成果をあげた点

文化会館平均利用率が向上している。

#### (2) 成果をあげた要因

利用調整会議による利用団体間の調整が利用率向上に貢献している。

#### (3) さらなる成果向上に向けた課題(課題がある場合に記載)

立地条件が影響しているため利用率が低い施設があることから、利用率向上に向けたPRと公演団体の誘致が必要である。

### 2 問題点の把握と原因分析及び課題の設定

#### (1) 小施策における現状の問題点

文化会館の設備の更新や修繕が必要となっている。

#### (2) 現状の問題点が生じている原因

文化会館の舞台設備等は、特殊な設備であるため多額の費用を要するため。

#### (3) 分析した原因の解決に向けた課題

設備の更新や修繕を計画的に進めるための整備計画を立てる。

## Step 8 小施策と構成事業の関係性

- 1 小施策との結び付きが弱い、もしくは他の事業と重複していると考えられる事業  
該当事業なし。
- 2 1で記載した事業についてその理由
- 3 1で記載した事業の今後の方向性（案）（縮小・廃止・統廃合等）

## Step 9 Step7, 8を踏まえた改革改善案

- ・ 文化会館4館の舞台設備、照明設備、音響設備の消耗・劣化度を調査するとともに、望ましい更新時期を分析する。
- ・ 調査結果を踏まえて設備の改修計画を立て財源確保の上、修繕・更新を進める。
- ・ 利用率の低い施設について、利用率向上に向けたPR方法を検討する。